

令和元年 7 月 18 日
宗像市総合計画等推進委員会

資料 5

宗像市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン
平成 3 0 年度実績（案）

宗像市

目 次

1	進捗管理の基本的な考え方	1
2	アクションプランによる進捗管理	1
3	アクションプランの計画期間	1
4	推進体制と役割（内部・外部機関）	1
5	アクションプランの管理対象取組	2
6	平成30年度の実績（個別プラン）	3
	参考資料 総合戦略取組一覧	17

1 進捗管理の基本的な考え方

宗像市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という。）は、5年間の計画期間内でより高い効果を発揮していくため、PDCAサイクルによる事業の進捗管理を行い、継続的な改善を推進することとしています。

総合戦略は第2次宗像市総合計画（以下、「総合計画」という。）を基本として策定しており、両者は一体的に推進することとしていることから、事業の進捗管理に当たっては、総合計画のPDCAサイクルである施策評価を基本として実施していきます。

2 アクションプランによる進捗管理

本市の総合戦略では、国の総合戦略を勘案し、4つの政策分野を設けていますが、本市の現状に基づき、「地域経済対策・しごとづくり」、「宗像へのひとの流れづくり」の2つの分野を重点分野として位置づけています。

これらの重点分野の事業について、計画期間内に着実に成果をあげるためには、従来以上の重点的な進捗管理を行う必要があります。

したがって、重点分野の主要な取り組みや、その他の分野の新規性が高い取り組みについては、従来の総合計画のPDCAサイクルに加えて、5年間の具体的な実行計画であるアクションプランを策定し、進捗管理に努めます。

3 アクションプランの計画期間

アクションプランにおける計画期間は、総合戦略にあわせて平成27年度から31年度の5年間とします。

4 推進体制と役割（内部・外部機関）

（1）アクションプランの所管部長及び所管課

アクションプランは各所管課が作成し、アクションプランに基づく取組みの実施と進捗管理を行います。

また、アクションプランは毎年度必要に応じて見直しを行うとともに、年度終了後の結果について、実行責任者である所管部長を通じて、宗像市まち・ひと・しごと創生本部に報告します。

（2）宗像市まち・ひと・しごと創生本部

市長を本部長とする庁内推進組織である宗像市まち・ひと・しごと創生本部は全体の進捗管理を行い、各アクションプランの年度終了後の結果について、各所管部長から報告を受けます。

また、外部有識者機関から受けた意見や提言に係る審議を行います。

（3）外部有識者機関

各アクションプランの年度終了後の結果について報告を受け、その内容について意見や提言を行います。

5 アクションプランによる管理対象取組

アクションプランを作成し、重点的に進捗管理を行う取組みは、次のとおりです。

なお、アクションプランの作成に当たっては、個別の取組みごとの性質を勘案し、取組みの全体をアクションプランによる管理対象とするもの、取組みの一部のみをアクションプランによる管理対象とするものに区分して作成します。

【分野1】地域経済対策、しごとづくり

No.	取組名	アクションプラン管理項目 (★印は産学官民連携事業)
1-1-①	農業の基盤強化	★民間企業ノウハウの農業分野への活用の検討・実施 ★ICTを活用した農業の研究 ★植物工場の設置の検討・実施
1-1-②	農産物の高付加価値化の推進	★資金調達の多様化の検討
1-2-②	水産業の6次産業化等の推進	
1-3-①	宗像版観光プラットフォームによる観光の推進	★海外への観光PR ★インバウンド商業施設整備の検討・実施 ★観光プラットフォームのMICE機能の強化
1-3-②	スポーツ観光の推進	★ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックキャンプ地の誘致 ○スポーツコミッションの設立 ○スポーツ合宿、スポーツ大会の誘致
1-3-③	世界遺産来訪者の受入準備	★産学官民等による世界遺産来訪者受入準備の推進
1-4-③	子育て中の女性への就労支援の充実	★テレワーク、農作業ヘルパーなどの多様な働き方への支援

【分野2】宗像へのひとの流れづくり

No.	取組名	アクションプラン管理項目 (★印は産学官民連携事業)
2-1-①	若い世代の定住化の推進	★市外転出者を対象とした事業の実施 ○定住PRの実施 ○子育て家族向け交流事業の実施 ○住宅取得等補助制度による定住促進 ○住宅開発等の誘導
2-1-②	三世代暮らしの推進	○三世代が安心して暮らせる宗像のライフスタイルの情報発信 ○三世代同居及び近居に係る補助制度の検討・実施
2-1-③	移住促進に向けた取り組み	★トライアルワーキングステイ事業の実施 ○地域おこし協力隊の募集の検討・実施 ○移住者をモデルに宗像暮らしを紹介 ○移住ポータルサイトの構築

【分野3】出産・子育て・教育環境づくり

No.	取組名	アクションプラン管理項目 (★印は産学官民連携事業)
3-1-③	子ども・若者包括支援センター(仮称)の開設	○子ども・若者支援センター(仮称)開設の検討・実施 ○子ども・若者支援センター(仮称)開設に向けた相談体制の強化

【分野4】まちづくりと安心な暮らしの確保

No.	取組名	アクションプラン管理項目 (★印は産学官民連携事業)
4-1-④	既存住宅団地の再生を目指した取り組み	★民間企業等と連携した団地再生事業の検討・実施 ★UR日の里団地の福祉機能の強化 ○マイホーム借上制度の推進 ○空き家活用実証実験 ○空き店舗利活用の推進 ○街なか居住、住替えの促進

6 平成30年度実績（個別プラン）

【1-1-①】農業の基盤強化

				担当課	農業振興課
総合戦略での位置づけ	分野	地域経済対策、しごとづくり	施策	農業の活性化	
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	地域産業の活性化	事務事業	農業振興事業、有害鳥獣捕獲事業	

◆アクションプラン管理項目

項目 (★印は産学官 民等との連携)	★ICTを活用した農業の研究 ★民間企業ノウハウの農業分野への活用の検討・実施	内容	・税務などの経営面に留まっていた農業におけるICT活用について、収益性や生産性の向上に着目した生産工程での利活用について調査、研究し、その導入を支援する。 ・農業者の作業負担の軽減や生産性の向上のため、他分野の民間企業が持つ業務改善などのノウハウの農業分野への活用を支援する。
--------------------------	--	----	---

◆行程表

	H27		H28		H29		H30		H31	
		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無
計画	・ICTを活用した事例の調査・研究 ・民間企業ノウハウ活用に向けた民間企業、農業者、JA等との協議		・ICTを活用した事例の調査・研究 ・民間企業ノウハウ活用に向けた民間企業、農業者、JA等との協議		・ICTを活用した事例の調査・研究 ・民間企業ノウハウ活用に向けた民間企業、農業者、JA等との協議		・ICTを活用した事例の調査・研究 ・民間企業ノウハウ活用に向けた民間企業、農業者、JA等との協議		・ICTを活用した事例の調査・研究 ・民間企業ノウハウ活用に向けた民間企業、農業者、JA等との協議	
実績と総括 ※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	要見直し	進捗度	遅れ	進捗度	
	・ICT農業の現状について、民間企業へのヒアリングを行い、ICT農業の導入支援のあり方の検討に着手した。 ・民間企業ノウハウを活用できる可能性のある作業等について、民間企業、JA、農業者へのヒアリングを行い、ノウハウ活用の検討に着手した。		・ICTを活用した農業技術の向上を目指して、福津市、JAむなかた、北筑前普及指導センターなどと連携し、市内の複数のイチゴハウスにICT機器の導入を図る事業に取り組むことを決定した(平成29年度から本格的に着手する予定)。 ・民間企業1社(製造業)から、製造ノウハウを活用した農業分野(技術指導)への進出に係る相談に対応した。		・宗像市及び福津市のイチゴハウス24箇所にICT機器を設置し、データの収集、分析、ワークショップによる情報共有等を行った。 ・関係機関へのヒアリングや民間企業からの相談対応の結果、他分野の民間企業が持つ業務改善などのノウハウで農業分野へ活用できるものは少ないと判断されるため、見直しが必要。		・宗像市及び福津市のイチゴハウス21箇所及びトマトハウス5か所にICT機器を設置し、データの収集、分析、ワークショップによる情報共有等を行った。 ・民間企業のノウハウを農業分野に活用する方策等について、引き続き関係団体と協議を行った。			

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	農地集積割合／％	31.3 (H26)	32.4	35.0	34.6	35.9		50.0
KPI②	新規就農者(5年間合計)／経営体	—	6	8	11	14		15
個別指標	民間企業ノウハウ活用事例数(5年間合計)／事例	—	0	0	0	0		1

【1-1-①】農業の基盤強化

				担当課	農業振興課
総合戦略での位置づけ	分野	地域経済対策、しごとづくり	施策	農業の活性化	
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	地域産業の活性化	事務事業	農業振興事業	

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	★植物工場の設置の検討・実施	内容	・植物工場の設置など、宗像市での農業参入に意欲がある民間企業に対し、候補地の確保、必要となる手続きの整理、農協や地元農業者との連絡・調整など、必要な支援を実施する。
--------------------------	----------------	----	--

◆行程表

	H27		H28		H29		H30		H31	
		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無
計画	・植物工場設置における課題、必要となる手続き等の整理 ・植物工場設置に適した候補地の検討 ・植物工場設置や農業参入の意向がある民間企業との協議		・植物工場設置や農業参入の意向がある民間企業との協議、支援		・植物工場設置や農業参入の意向がある民間企業との協議、支援		・植物工場設置や農業参入の意向がある民間企業との協議、支援		・植物工場設置や農業参入の意向がある民間企業との協議、支援	
実績と総括 ※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	遅れ	進捗度	遅れ	進捗度	
	・植物工場設置の意向がある複数の民間企業に対して、JAを紹介したり、具体的な候補地を提示するなどの支援を行った。 ・農業参入した民間企業1者に対し、農地の紹介や貸付資金の申請に係る支援を行った。		・植物工場設置意向のある企業に対して候補地を紹介するなどしたが、設置には至らなかった。内1社とは、引き続き観光農園等の設置についても協議を行ったが、適地や採算の問題もあり、調整がつかなかった。 ・H27に農地の紹介等を行った民間企業1社に対して、新規就農希望者1人の雇用を紹介した。 ・新たに農業参入を希望する民間企業1社に対して、農地貸借の手続きに係るアドバイスを行った。		・植物工場設置意向のある企業からの相談に対応したが、設置には至らなかった。 ・新たに農業参入を希望する民間企業1社を地元集落に紹介し、複数の地権者から農地貸借の承諾を得ることができたが、企業側の都合により参入には至らなかった。		・新たに植物工場建設意向のある団体から相談が寄せられ、補助事業や参入候補地の情報等を提供するとともに、地元集落代表者への紹介・面談などを行ったが、設置には至らなかった。 ・新たに農業参入を希望する民間企業1社に対して、農地貸借の手続きや地元との調整等に係るアドバイスをを行い、農業経営を開始することができた。			

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	農地集積割合／％	31.3 (H26)	32.4	35.0	34.6	35.9		50.0
KPI②	新規就農者(5年間合計)／経営体	—	6	8	11	14		15
個別指標	植物工場設置数(5年間合計)／件	—	0	0	0	0		1

【1-1-②、1-2-②】農産物の高付加価値化の推進、水産業の6次産業化の推進

担当課	商工観光課
-----	-------

総合戦略での位置づけ	分野	地域経済対策、しごとづくり	施策	農業の活性化、水産業の活性化
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	地域産業の活性化	事務事業	—

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	★資金調達の多様化の検討	内容	・宗像市内の事業者が、農水産品や6次産業化の開発、観光サービスの企画・実施などを行う際の新たな資金調達手段として、個人投資家から小口投資を募るクラウドファンディングの支援を検討する。
--------------------------	--------------	----	---

◆行程表

	H27	H28	H28	H29	H29	H30	H30	H31	H31
			変更有無		変更有無		変更有無		変更有無
計画	・投資型クラウドファンディングの調査・研究	・投資型クラウドファンディングによる資金調達支援を実施している自治体へのヒアリング調査 ・投資型クラウドファンディングを活用している事業者へのヒアリング調査		・投資型クラウドファンディングによる資金調達への具体的な支援の在り方の検討 ・投資型クラウドファンディングの事業者への周知		・投資型及び購入型クラウドファンディングによる資金調達への支援の実施 ・試行結果の検証に基づき、クラウドファンディング活用支援の在り方を検討		・検証結果に基づくクラウドファンディング活用支援策の実施	
実績と総括	進捗度 順調	進捗度 順調		進捗度 順調		進捗度 順調		進捗度 順調	
※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	・投資型クラウドファンディングを運営する民間企業にヒアリングを行い、調査・研究に着手した。 ・投資型クラウドファンディングについて、商工会と情報共有を行い、市内事業者の動向やニーズについて意見交換を行った。	・投資型クラウドファンディングの活用支援を行っている自治体やファンド仲介業者へのヒアリングを実施し、平成29年度の事業者支援に向け、制度設計を実施した。 ・地域の関係者が一体となった産官金連携による支援体制を構築するため、商工会、金融機関との協議を実施した。		・商工会、金融機関との連携により、投資型クラウドファンディングの活用を支援する「宗像応援ファンド」の試行をスタート。 ・応募があった5件の事業者を支援したが、ファンド組成及び資金調達に至った事業者は1件であった。 ・試行結果に基づき、購入型クラウドファンディングの活用支援策を検討した。		・投資型クラウドファンディングの現状・・・海千により、搾汁器等購入、新ジャンルであるお菓子の開発とリリースが完了。また福岡県内の施設にて販売強化のため、什器を拡充。R元年6月には出資者への特典送付を実施した。 ・投資型クラウドファンディングから購入型クラウドファンディングへ以降し、4件の組成を実施。新商品の開発、販路開拓を実施した。			

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
個別指標	新たな資金調達手段の支援数／件	—	0	0	1	4		1
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—

【1-3-①】宗像版観光プラットフォームによる観光の推進

担当課	商工観光課
-----	-------

総合戦略での位置づけ	分野	地域経済対策、しごとづくり	施策	観光の活性化
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	観光による地域の活性化	事務事業	観光プラットフォーム推進事業

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	★海外への観光PR ★インバウンド商業施設整備の検討・実施	内容	・海外への観光戦略として、マーケティング調査・分析、観光資源と課題の整理、民間企業等と連携した海外でのPR・営業活動を実施する。 ・外国人旅行者の需要に対応した商業施設の整備について、民間企業との役割分担のもと、必要な支援を行う。
--------------------------	----------------------------------	----	--

◆行程表

	H27	H28	H29	H30	H31
計画	・海外戦略の整理(外国人観光客のトレンド、ニーズ等の確認、マーケティング調査の準備など) ・商業施設整備の意向がある民間企業との協議	・海外戦略の方針決定(マーケティング調査・分析、観光資源と課題の整理、民間企業等と連携した海外でのPR活動など) ・民間の店舗、宿泊施設等の外国人受入体制整備の支援 ・商業施設整備の意向がある民間企業との協議	・海外戦略に基づいたプロモーション、受入体制整備、インフラ・ハード整備計画の作成 ・商業施設整備の意向がある民間企業への支援	・海外戦略に基づいたプロモーション、受入体制整備、インフラ・ハード整備 ・商業施設整備の意向がある民間企業への支援	・海外戦略の効果検証
実績と総括 ※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	進捗度 順調 ・海外戦略について、大和リゾート国際営業部(玄海ロイヤルホテル)と連携して実施した。 ・インバウンド対応として、タブレット版TV電話通訳サービス機器を観光案内所へ設置。その他、英・中・韓対応の「指差し確認冊子」を作成し、飲食店や観光施設などに配布した。 ・インバウンド商業施設整備の意向がある民間企業との協議の結果、外国人旅行者に限らず幅広く集客できる商業施設について検討することとなった。	進捗度 順調 ・海外戦略は、大和リゾート国際営業部(玄海ロイヤルホテル)と連携して実施した。 ・九州運輸局やFDCと連携してマーケティング調査・分析を実施したが、海外戦略の方針決定までは至っていない。 ・インバウンド対応として、観光スポットにQRトランスレーターを設置。観光資源を整理し、英語版の周遊マップを作成した。 ・観光庁のインバウンド支援対応支援事業補助金を活用し、宿泊施設のトイレの洋式化やWi-Fi設置の事業認定を受けた(実施はH29年度)。 ・商業施設整備の意向がある民間企業との協議を継続。	進捗度 遅れ ・海外戦略の方針決定までは至っていない。 ・インバウンド対応として、昨年に引き続き、観光スポットにQRトランスレーターを設置するとともに、トランスレーターの設置個所をまとめたパンフレットを作成。 ・観光庁のインバウンド支援事業補助金を活用し、市内3つの宿泊施設がトイレの洋式化、Wi-Fi設置を行った。 ・商業施設整備の意向がある民間企業との協議を継続	進捗度 遅れ ・海外戦略については、宗像市単独で方針決定するのではなく、広域(特に福岡市)で検討し、インバウンドを受け入れていくほうが効果的であるため、福岡市や県と協議を行った。 ・民間のQRトランスレーターに移行し、広域で誘致する仕組みに変更した。 ・台湾及び中国で人気のあるタレントを活用し、動画を作成(本土編、大島編) ・商業施設整備の意向がある民間企業との協議を継続	進捗度

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	観光入込客数／千人 【福岡県観光入込客推計調査】	6,472 (H26)	6,515	6,949	6,504	計測中		7,000
KPI②	観光による市内消費額／億円 【福岡県観光入込客推計調査】※H28から調査方法変更、H29から調査方法変更	44 (H26)	45	69	43	計測中		50
KPI③	周遊イベントの参加者数／人	0 (H26)	3,774	880	1,929	826		500

【1-3-①】宗像版観光プラットフォームによる観光の推進

担当課	商工観光課
-----	-------

総合戦略での位置づけ	分野	地域経済対策、しごとづくり	施策	観光の活性化
総合計画で関連する 施策・事務事業	施策	観光による地域の活性化	事務事業	観光プラットフォーム推進事業

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官 民等との連携)	★観光プラットフォームのMICE機能の強化	内容	・宗像市内でのMICEの開催や、近隣市で開催されるMICEのアフターコンベンションの誘致など、宗像版観光プラットフォームがMICE需要にワンストップで対応する仕組みの構築を支援する。
------------------------------	-----------------------	----	---

◆行程表

	H27	H28	変更有無	H29	変更有無	H30	変更有無	H31	変更有無
計画	・MICEの調査・研究 ・アフターコンベンション誘致の検討	・MICE需要へ対応する事業スキームの構築支援 ・MICE需要へ対応する観光商品の開発 ・民間の店舗、宿泊施設等の外国人受入体制整備の支援 ・アフターコンベンションの誘致		・MICE需要へ対応する事業スキームの構築支援 ・MICE需要へ対応する観光商品の開発 ・民間の店舗、宿泊施設等の外国人受入体制整備の支援 ・アフターコンベンションの誘致		・観光プラットフォームによるMICE、アフターコンベンション誘致の支援		・観光プラットフォームによるMICE需要対応スキームの検証	
実績と総括 ※『進捗度』は、 「順調」、「やや遅れ」、 「遅れ」から選択	進捗度 順調 ・福岡地域戦略推進協議会の観光部会に参加し、MICEに関する調査、研究を行った。 ・MICE需要への対応における課題の整理を行った。	進捗度 順調 ・6月にライオンズクラブ国際大会のサイトビジットツアーを誘致し、観光商品を提供した(インド39人)。 ・サイトビジットツアー実施後、MICE需要へ対応する観光商品の調査研究を継続している。 観光庁のインバウンド支援対応支援事業補助金を活用し、宿泊施設のトイレの洋式化やWi-Fi設置の事業認定を受けた(実施はH29年度)。		進捗度 遅れ ・観光プラットフォームのMICE機能の強化については、アフターコンベンションに対応するための観光商品の調査研究を継続 ・観光プラットフォームにおいてワンストップで対応する仕組みの構築には至っていない。		進捗度 遅れ ・観光プラットフォームのMICE機能の強化については、アフターコンベンションに対応するための観光商品の調査研究を継続 ・観光プラットフォームにおいてワンストップで対応できる仕組みの構築に向け、調査研究を開始		進捗度	

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	観光入込客数／千人 【福岡県観光入込客推計調査】	6,472 (H26)	6,515	6,949	6,504	計測中		7,000
KPI②	観光による市内消費額／億円 【福岡県観光入込客推計調査】※H28から調査方法変更、H29から調査方法変更	44 (H26)	45	69	43	計測中		50
KPI③	周遊イベントの参加者数／人	0 (H26)	3,774	880	1,929	826		500

【1-3-②】スポーツ観光の推進

担当課	文化スポーツ課
-----	---------

総合戦略での位置づけ	分野	地域経済対策、しごとづくり	施策	観光の活性化
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	スポーツの多面活用	事務事業	スポーツ観光推進事業、大規模国際大会キャンプ地誘致推進事業費

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	★ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックキャンプ地の誘致 ○スポーツコミッションの設立 ○スポーツ合宿の誘致 ○スポーツ大会の誘致	内容	・スポーツ推進都市としての知名度向上、国内外へのPR効果による将来的なスポーツ大会・合宿誘致数の増加、来訪者数の増加といったスポーツ観光の推進を目的に、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックキャンプ地の誘致に取り組む。 ・スポーツ大会・合宿の誘致やコーディネートを担う宗像版スポーツコミッションを設立し、国・九州レベルのスポーツ大会の誘致、開催やプロスポーツの興行、スポーツ合宿の誘致に取り組む。
--------------------------	---	----	--

◆行程表

	H27	H28	H29	H30	H31
		変更有無 無	変更有無 無	変更有無 無	変更有無 無
計画	・キャンプ地誘致に向けた具体的方針の検討 ・スポーツコミッションの設立協議 ・スポーツ合宿の誘致及び推進施策の検討	・キャンプ地誘致に向けた誘致活動、広報PR、啓発、海外選手交流 ・スポーツコミッションの設立 ・スポーツ合宿の誘致	・キャンプ地誘致に向けた誘致活動、広報PR、啓発、海外選手交流、視察団受入れ ・スポーツ合宿の誘致、スポーツ大会の開催・誘致	・キャンプ地誘致に向けた誘致活動、広報PR、啓発、海外選手交流、視察団受入れ ・スポーツ合宿の誘致、スポーツ大会の開催・誘致	・キャンプ地誘致に向けた誘致活動、広報PR、啓発、海外選手交流 ・スポーツ合宿の誘致、スポーツ大会の開催・誘致
実績と総括 ※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	進捗度 順調 ・キャンプ地誘致に向け、市、関係団体、民間企業で構成する「宗像市大規模国際大会キャンプ地誘致推進本部」を設置し、官民連携の誘致活動に着手した。 ・スポーツコミッションの設立に向け、準備委員会を立ち上げ、スポーツ合宿及びスポーツ大会の誘致に向けた事業案を策定した。 ・スポーツ観光の中心となるグローバルアリーナの大会基準への適合、誘致可能種目、大会規模の調査を実施した。	進捗度 順調 ・キャンプ地誘致に向け、関係機関への誘致活動を実施。パラリンピック（障がい者バドミントン）のプレキャンプを誘致し、受入れ。 ・スポーツコミッション設立の準備組織において組織・体制について協議。 ・スポーツ合宿の誘致活動を実施。併せて、宿泊に係る助成制度について協議。	進捗度 順調 ・東京2020オリンピック競技大会について7人制ラグビー女子代表と柔道ブルガリア代表を誘致しホストタウンとしての承認を得た。 ・ラグビーワールドカップ2019の公認キャンプ地として立候補した。 ・スポーツコミッション機能の強化のため宿泊助成の制度内容を検討した。	進捗度 順調 ・東京2020オリンピック競技大会に向けた7人制ラグビーロシア女子代表と柔道ブルガリア代表のキャンプ受入を開始。市民と選手団との交流を行っていた。 ・ラグビーワールドカップキャンプ地については選外。 ・本市にけるスポーツコミッション機能を市内民間企業と連携して構築していくため、関係機関主催事業の開催支援等を行った。	進捗度 順調

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	スポーツ観光による本市来訪者／人	463,161 (H26)	537,902	545,847	485,640	計測中		533,161
KPI②	スポーツ観光による本市宿泊者／人	107,119 (H26)	108,756	114,266	115,263	計測中		137,119
個別指標	ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックキャンプ地の誘致決定数／件	—	0	0	2	3		2

【1-3-③】世界遺産来訪者の受入準備

				担当課	世界遺産課
総合戦略での位置づけ	分野	地域経済対策、しごとづくり	施策	観光の活性化	
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	歴史文化の保存と活用	事務事業	世界遺産登録活動事業	

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	★産学官民等による世界遺産来訪者受入準備の推進	内容	・来訪者受入準備として、ガイドンス施設の充実、観光ガイドの充実、駐車場やトイレ等の便益施設の整備、交通誘導策の検討、既存店舗や宿泊施設の受入準備支援、店舗等の誘致・誘導、周遊ルートの設定、周辺観光や食などの魅力のブラッシュアップ、多言語対応化などに取り組む。 ・啓発・PR活動として、国内外に向けた戦略的PR、イベントの開催、子どもたちへの世界遺産学習機会の提供、市民や企業等の応援体制の強化などに取り組む。 ・周辺景観や環境の保全策として、保安全管理の仕組み・体制づくり、景観グランドデザインの策定、美化活動の強化などに取り組む。
--------------------------	-------------------------	----	--

◆行程表

	H27		H28		H29		H30		H31	
		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無
計画	・来訪者受入対策にかかる推進体制の整備 ・対応すべき課題の整理と対応策の検討 ・景観グランドデザインの策定		・大島ガイドンス施設の開設準備 ・世界遺産センター整備の検討 ・交通誘導策の検討、店舗等誘致・誘導計画策定、駐車場・トイレ等の整備 ・周遊ルートの設定、ガイドブックの作成、観光ガイドの公募・育成 ・既存店舗や宿泊施設の受入準備支援		・大島ガイドンス施設の開設 ・世界遺産センター整備の検討 ・交通誘導策の検討、店舗等誘致・誘導計画策定、駐車場・トイレ等の整備 ・周遊ルートの設定、ガイドブックの作成、観光ガイドの公募・育成 ・既存店舗や宿泊施設の受入準備支援		・世界遺産センターの開設準備 ・来訪者受入体制の検証と改善策の検討		・世界遺産センターの開設 ・来訪者受入体制の検証と改善策の検討	
実績と総括 ※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	要見直し	進捗度	
	・来訪者受入対策の検討・実施のため、「宗像市世界遺産対策会議」を設置し、来訪者対策部会、啓発PR部会、保全・景観づくり部会の3つの部会で検討に着手した。 ・景観グランドデザインを策定するとともに、想定来訪者数や既存施設、交通等に関する基礎調査を実施し、対応すべき課題の整理、対応策の検討を行った。		・大島ガイドンス施設の開設のため大島資料館の改修工事、展示工事に着手した。 ・世界遺産センターの整備に向け、世界遺産推進会議で来訪者施設基本計画を策定した。 ・来訪者対策として、神湊第2駐車場を拡張した。(60台) ・島内公共交通の充実のため、観光バスの試験運行を開始した。 ・既存店舗の改修や宿泊施設の受入準備支援のため、補助金等の創設を行った。		・世界文化遺産に登録され、入込客は約3割増加した。 ・「大島交流館」(大島ガイドンス施設)を開設した。 ・交通誘導のための警備員の配置や臨時駐車場の確保などに取り組んだ。 ・歴史観光ボランティアや地域学芸員の育成に取り組んだ。店舗改修や受入支援の補助金制度を引き続き運用した。 ・歴史文化資源・ガイドンス拠点施設(世界遺産センター)については、継続検討している。		・世界遺産センターについては、当面「検討」とする。 ・登録1周年記念イベントをはじめ、世界遺産劇場及び冠事業等を実施した。 ・歴史観光ボランティアや地域学芸員の育成に取り組んだ。 ・世界遺産ガイドンス施設である海の道むなかた館の展示リニューアル、構成資産の銘板・解説板設置及び誘導サイン整備に取り組んだ。			

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	観光ガイド数／人	73 (H26)	75	79	80	99		100
KPI②	世界遺産関連施設(海の道むなかた館)来館者数／人	157,628 (H26)	158,037	143,941	181,692	155,135		170,000
KPI③	—	—	—	—	—	—	—	—

【1-4-③】子育て中の女性への就労支援の充実

担当課	男女共同参画推進課
-----	-----------

総合戦略での位置づけ	分野	地域経済対策、しごとづくり	施策	雇用の場の確保
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	互いに尊重し、協力し合う社会の充実	事務事業	男女共同参画推進センター事業

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	★テレワーク、農作業ヘルパーなどの多様な働き方への支援	内容	・テレワークや在宅ワークなど、子育て世代の女性がライフスタイルにあわせて柔軟に活躍できる働き方について、幅広く調査・研究を行い、効果的な支援を実施する。
--------------------------	-----------------------------	----	--

◆行程表

	H27		H28		H29		H30		H31	
		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無
計画	- 多様な働き方に関する支援策の検討 - 農作業ヘルパーの受入拡大と、募集情報の発信力の強化		- 多様な働き方に関する支援策の検討 - 農作業ヘルパーの受入拡大と、募集情報の発信力の強化 - 女性向け起業講座の充実		- 多様な働き方に関する支援策の実施 - 農作業ヘルパーの受入拡大と、募集情報の発信力の強化		- 多様な働き方に関する支援策の実施 - 農作業ヘルパーの受入拡大と、募集情報の発信力の強化		新支援策の効果検証	
実績と総括	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	
※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	- これまで実施していた就職に向けた資格取得講座に加え、女性の起業を支援するための講座を開始した。 - 女性の就労の場の拡大にも繋がる農作業ヘルパーについて、受入数を拡大し募集を行った。		- 就職に向けた資格取得講座や女性の起業を支援するための講座を実施した。 - 女性の再就職応援セミナーを実施した。 『事業所における男女共同参画推進状況調査』において、「働きながら育児や介護をすることを容易にするための取り組み」の選択肢に、「在宅でも仕事ができる仕組み(テレワークなど)」を提示。調査結果の概要リーフレットを調査対象約350事業所に送付し、啓発を行った。		- 就職に向けた資格取得講座や女性の起業を支援するための講座を実施した。 - 女性の再就職応援講座を実施した。 - 農作業ヘルパー紹介事業により、宗像市内延べ5人の女性が雇用された。また、新たに家族経営協定1件が締結された。		- 就職に向けた資格取得講座や女性の起業を支援するための講座を実施した。 - 農作業ヘルパー紹介事業により、宗像市内延べ10人の女性が雇用された。			

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	チャレンジ支援講座／講座	5 (H26)	6	3	4	3		5
個別指標	新たな支援策の実施／件(5年間合計)	—	1	2	2	2		3
—	—	—	—	—	—	—	—	—

【2-1-①】若い世代の定住化の推進

担当課	経営企画課
-----	-------

総合戦略での位置づけ	分野	宗像へのひとの流れづくり	施策	地域資源を活かした移住・定住施策の推進
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	住宅施策の推進	事務事業	定住化推進事業

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	★市外転出者を対象とした事業の実施 ○定住PRの実施 ○子育て家族向け交流事業の実施 ○住宅取得等補助制度による定住促進 ○住宅開発等の誘導	内容	・本市の住環境の充実や住宅受皿の活性化、まちの魅力の情報発信など総合的な定住施策を推進する。 ・子育て家族など若い世代の人々に対して、宗像に対する共感を創り出すため、子育て家族向けの交流事業を実施する。 ・住宅取得等の補助制度の見直しを図り、よりターゲットを絞った支援を実践する。 ・魅力ある住宅の開発誘導など、民間事業者の住宅事業の活性化を支援する。
--------------------------	--	----	---

◆行程表

	H27	H28	H28	H29	H29	H30	H30	H31	H31
		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無	
計画	・定住PRの実施 ・子育て家族向け交流事業の実施 ・住宅取得等補助制度の見直し ・住宅開発等の誘導		・定住PRの実施 ・子育て家族向け交流事業の実施 ・住宅取得等補助制度を活用した定住促進 ・住宅開発等の誘導		・定住PRの実施 ・子育て家族向け交流事業の実施 ・住宅取得等補助制度を活用した定住促進 ・住宅開発等の誘導		・定住PRの実施 ・子育て家族向け交流事業の実施 ・住宅取得等補助制度を活用した定住促進 ・住宅開発等の誘導		・定住PRの実施 ・子育て家族向け交流事業の実施 ・住宅取得等補助制度を活用した定住促進 ・住宅取得等補助制度の効果検証 ・住宅開発等の誘導
実績と総括	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度
※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	・広告掲載やイベント出展などにより、新婚世帯や子育て世帯などに向けて本市まちの魅力のPRなどを行った。 ・宗像暮らしを体験する子育て家族向け交流イベントを開催した。 ・既存の住宅取得等補助制度の見直しを行った。 ・住宅開発等の誘導に向け、ハウスメーカーや開発業者へのヒアリングや意見交換等を実施した。		・広告掲載やイベント出展などにより、新婚世帯や子育て世帯などに向けて本市まちの魅力のPRなどを行った。 ・宗像暮らしを体験する子育て家族向け交流イベントを開催した。 ・住宅開発等の誘導に向け、ハウスメーカーや開発業者へのヒアリングや意見交換等を実施した。		・広告掲載やイベント出展などにより、新婚世帯や子育て世帯などに向けて本市まちの魅力のPRなどを行った。 ・住宅開発等の誘導に向け、ハウスメーカーや開発業者へのヒアリングや意見交換等を実施した。		・若年層を対象に、市の生活環境、定住補助制度をPRするため雑誌に記事掲載を行った。 ・補助制度を利用して、873人が定住(持ち家取得)した。 ・住宅開発等の誘導に向け、ハウスメーカーや開発業者へのヒアリングや意見交換等を引き続き実施した。		

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	生産年齢人口(15-64歳人口)※人口ビジョンにおける将来展望人口の達成／人	54,133 (H31推計値)	56,996	56,399	56,004	55,203		55,228
KPI②	—	—	—	—	—	—	—	—
KPI③	—	—	—	—	—	—	—	—

【2-1-②】三世代暮らしの推進

				担当課	経営企画課
総合戦略での位置づけ	分野	宗像へのひとの流れづくり	施策	地域資源を活かした移住・定住施策の推進	
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	住宅施策の推進	事務事業	定住化推進事業	

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	○三世代が安心して暮らせる宗像のライフスタイルの情報発信 ○三世代同居及び近居に係る補助制度の検討・実施	内容	・「三世代同居」や「子育て世帯とその親世帯の近居」を推奨し、三世代が安心して暮らせる宗像の魅力やライフスタイルを提案する情報発信を行う。 ・三世代同居及び近居にかかる住宅の増改築等に対する補助制度を検討する。
--------------------------	---	----	---

◆行程表

	H27		H28		H29		H30		H31	
		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無
計画	・三世代同居等家族の取材を実施 ・三世代同居等にかかる補助制度の検討		・三世代同居等暮らしの情報発信 ・三世代同居等に係る補助制度の開始		・三世代同居等暮らしの情報発信 ・三世代同居等に係る補助制度の活用促進		・三世代同居等暮らしの情報発信 ・三世代同居等に係る補助制度の活用促進		・補助制度の効果検証	
実績と総括 ※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	
	・三世代同居等にかかる新たな補助制度について、新制度創設に向けての制度設計に着手した。 ・三世代同居等暮らしの情報発信について、発信内容や対象、手法等についての検討を行った。		・三世代同居・近居を支援する補助制度を創設した。 ・広報紙にて、三世代暮らしの情報発信について、情報発信を行った。		・広告掲載やイベント出展などにより、三世代同居・近居などに向けて本市まちの魅力のPRなどを行った。 ・住宅開発等の誘導に向け、ハウスメーカーや開発業者へのヒアリングや意見交換等を実施した。		・住宅情報誌に三世代同居・近居補助制度の内容を掲載し周知を図ったとともに、昨年度に引き続き、イベント出展をととした本市まちの魅力のPRなどを行った。 ・住宅開発等の誘導に向け、ハウスメーカーや開発業者へのヒアリングや意見交換等を実施した。			

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	新規補助制度を活用して三世代同居及び近居を始める世帯の数／世帯	—	—	28世帯	61世帯	60世帯		前年比10%増加
KPI②	—	—	—	—	—	—	—	—
KPI③	—	—	—	—	—	—	—	—

【2-1-③】移住促進に向けた取り組み

				担当課	経営企画課
総合戦略での位置づけ	分野	宗像へのひとの流れづくり	施策	地域資源を活かした移住・定住施策の推進	
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	地域の特色を活かしたコミュニティ活動の推進	事務事業	移住推進事業	

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	★トライアルワーキングステイ事業の実施 ○地域おこし協力隊の募集の検討・実施 ○移住者をモデルに宗像暮らしを紹介 ○移住ポータルサイトの構築	内容	・市内の農山漁村各地区で、移住者の受け入れについてどのような意向があるか調査を実施する。 ・農業や漁業の担い手育成や農村部における新たな就労の機会の創出を図りつつ、域外から田舎暮らしや地域おこしに関心のある人の移住を促進する。 ・宗像に移住して充実した暮らしをしている人をモデルに、移住のきっかけや今の暮らしぶり、地域との繋がりなどをWebで紹介していく。 ・「田舎暮らし」住宅物件と地域の魅力を紹介する移住ポータルサイトを構築する。
--------------------------	--	----	--

◆行程表

	H27		H28		H29		H30		H31	
		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無
計画	・トライアルワーキングステイ事業の実施 ・地域おこし協力隊の募集検討 ・宗像暮らしの紹介		・地域おこし協力隊の配置 ・新たな地域おこし協力隊の募集 ・宗像暮らしの紹介 ・移住ポータルサイトの構築		・地域おこし協力隊の配置 ・新たな地域おこし協力隊の募集 ・宗像暮らしの紹介		・地域おこし協力隊の配置 ・宗像暮らしの紹介		・地域おこし協力隊の効果検証 ・宗像暮らしの紹介	
実績と総括 ※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調
	・トライアルワーキングステイ事業で市外居住者1人が2ヶ月間の体験居住を行い、体験居住者からの宗像暮らしの情報発信を行った。 ・地域おこし協力隊の導入検討のため、市内2地域でモデル地区としての可能性等を検討し、平成28年度の導入を決定した。		・2人の地域おこし協力隊を配置した。 ・広報紙やSNSなどで宗像への移住者の暮らしの紹介を行った。		・3人の地域おこし協力隊を配置した。 （地域おこし協力隊員数計：5人） ・平成30年度の地域おこし協力隊導入に向けた募集活動を実施した。 ・宗像市への移住に興味がある東京都市圏在住者を対象とした二地域居住体験のモニターツアーを実施（参加者15人）した。		・2人の地域おこし協力隊を配置した。 （地域おこし協力隊員数計：5人） ・東京で移住相談会を2回開催するとともに、ふくおかよかとこ移住相談センター（福岡県が東京都で開設している移住相談窓口）、（一社）移住・交流推進機構と移住者動向等に関する情報交換を行った。			

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	地域おこし協力隊など域外からの移住者数（5年間合計）／人	—	0	5人	4人	2人		10
KPI②	—	—	—	—	—	—	—	—
KPI③	—	—	—	—	—	—	—	—

【3-1-③】子ども・若者支援センター(仮称)の開設

		担当課		子ども支援課
総合戦略での位置づけ	分野	出産・子育て・教育環境づくり	施策	安心して産み、育てられる環境づくり
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	子育て環境の充実	事務事業	—

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	○子ども・若者支援センター(仮称)開設の検討・実施 ○子ども・若者支援センター(仮称)開設に向けた相談体制の強化	内容	・母子保健、発達支援、家庭児童相談、教育相談等、子ども・子育て、教育に関して包括的に支援する子ども・若者支援センター(仮称)を設置する。 ・社会福祉・保健・心理・理学療法・作業療法・言語聴覚療法等の専門職の配置の充実等により相談体制を強化する。
--------------------------	---	----	---

◆行程表

	H27		H28		H29		H30		H31	
			変更有無		変更有無		変更有無		変更有無	
計画	・子ども・若者支援センター(仮称)の開設に向けた庁内検討組織の設置		・子ども・若者支援センター(仮称)の開設に向けた検討		・子ども・若者支援センター(仮称)開設の準備 ・開設に向けた相談体制の強化		・子ども相談支援センターの開設 ・相談体制の強化		・子ども相談支援センターの運営改善 ・相談体制の強化	
実績と総括 ※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	
	・子ども・若者支援センター(仮称)の開設に向け、庁内検討組織を設置し、課題の整理やセンターの機能や体制など、具体的な検討に着手した。		・子ども・若者支援センター(仮称)の開設に向け、ワーキングチームにて課題の整理やセンターの機能や体制など具体的な検討を行った。センターの素案について、庁内検討委員会、主幹課長会議、経営会議、庁議にて協議を行った。		・平成30年4月の子ども相談支援センターの開設に向けて、 (1)庁内検討会議、主管課長会議、経営会議で協議し、庁議で承認を得た。 (2)条例、要綱、要領の改正、制定を行った。 (3)円滑な業務の実施のため、担当者による協議を行った。 (4)西館1階のレイアウト変更のため、財政課や経営企画課、契約検査課、子ども育成課と協議を行った。		・平成30年4月の子ども相談支援センターの開設した。 (1)スクールソーシャルワーカーを配置し小中学校の児童生徒の不登校等の相談対応を行った。またスクールソーシャルワーカーの増員について教育政策課や関係各課と協議を行った。 (2)子ども家庭相談員の体制について協議を行った。			

◆重要業績評価指標(KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	子ども・若者支援センター(仮称)	未開設	未開設	未開設	未開設	開設		開設
KPI②	—	—	—	—	—	—	—	—
KPI③	—	—	—	—	—	—	—	—

【4-1-④】既存住宅団地の再生を目指した取り組み

				担当課	都市再生課
総合戦略での位置づけ	分野	まちづくりと安心な暮らしの確保	施策	宗像版集約型都市構造の形成	
総合計画で関連する施策・事務事業	施策	住宅施策の推進	事務事業	定住化推進事業	

◆アクションプラン管理項目

重点管理項目 (★印は産学官民等との連携)	★民間企業等と連携した団地再生事業の検討・実施 ★UR日の里団地の福祉機能の強化 ○マイホーム借上制度の推進 ○空き家活用実証実験 ○空き店舗利活用の推進 ○街なか居住、住替えの促進	内容	・老朽化した住宅の建て替えやリノベーションの推進、既存住宅ストックの有効活用や住み替えの促進などが求められている。 ・空き店舗の利活用と地域住民が集う場所づくりを実践する。 ・住宅団地内における高齢者と若い世代との交流の機会の創出を図る。 ・一戸建て住宅の賃貸物件化を支援するため、リフォームに関する支援を検討し、実験的な取り組みを実施する。 ・住替えなどにかかる資金調達を可能とする金融商品創設を誘導する。
--------------------------	--	----	--

◆行程表

	H27		H28		H29		H30		H31	
		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無		変更有無
計画	・マイホーム借上げ制度の推進 ・新たな金融商品創設の検討 ・空き家活用実証実験事業の実施 ・空き店舗利活用の推進 ・UR賃貸住宅の活性化検討 ・都市再生ワークショップの実施 ・再生にかかる民間事業の誘発		・住替え促進方策の検討 ・一戸建て住宅の賃貸物件化方策の検討 ・団地内で高齢者と若者の交流事業の実施 ・空き店舗利活用の推進 ・UR賃貸住宅の活性化 ・再生にかかる民間事業の誘発		・住替えの促進 ・街なか居住の推進 ・UR賃貸住宅の活性化 ・再生にかかる民間事業の誘発		・住替えの促進 ・街なか居住の推進 ・UR賃貸住宅の活性化 ・再生にかかる民間事業の誘発		・実施事業の効果検証と改善	
実績と総括 ※『進捗度』は、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」から選択	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調	進捗度	順調
	・市、UR、民間企業、金融機関等からなる宗像市都市再生事業推進協議会を立ち上げ、戸建て空き家賃貸化の試行事業、新たな金融商品創設、パークアンドライドや空き店舗活用の検討などに着手した。 ・マイホーム借上げ制度の説明会等を開催し、UR日の里団地の入居促進に取り組んだ。		・中古住宅購入補助制度や古家建替え補助制度の利用促進を図り、既存住宅ストックの利活用促進に取り組んだ。 ・県のリフォーム補助制度やマイホーム借り上げ制度の説明会等を開催し、一戸建て住宅の賃貸化に向けた啓発を実施した。 ・UR賃貸住宅の入居促進のため、家賃補助制度の改正等を実施した。 ・JR東郷駅前空き店舗を活用し、地元住民が運営するコミュニティスペースとして、「CoCoKaraひのさと」をオープンした。		・中古住宅購入補助制度や古家建替え補助制度の利用促進を図り、既存住宅ストックの利活用促進に取り組んだ。 ・マイホーム借り上げ制度の説明会等を開催し、一戸建て住宅の賃貸化に向けた啓発を実施した。 ・「CoCoKaraひのさと」にて、DIYワークショップや多世代交流のカフェ等を開催し、地域住民の交流の場となった。		・中古住宅購入補助制度や古家建替え補助制度の利用促進を図り、既存住宅ストックの利活用促進に取り組んだ。 ・既成住宅再生エリアマネジメント事業の一環として、ワークショップで、人材発掘、課題抽出を行った。 ・「CoCoKara運営協議会」が日の里まちづくりワークショップを行い、日の里の大通り活性化や東小前UR団地再生について住民間で意見交換し、取りまとめた。			

◆重要業績評価指標 (KPI)

	指標名／単位	基準値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値
KPI①	日の里地区戸建て住宅空き家数(前年比5%減少)／戸数 ※次回調査時期は検討中	132 (H26)	—	164 (H28)	—	—		102
KPI②	自由ヶ丘地区戸建て住宅空き家数(前年比5%減少)／戸数 ※次回調査時期は検討中	182 (H26)	—	221 (H28)	—	—		141

【分野1】地域経済対策、しごとづくり

No.	取組名	内容	アクション プラン 管理対象	第2次総合計画における 関連施策	担当課
1-1-①	農業の基盤強化	★民間企業ノウハウの農業分野への活用の検討・実施	●	地域産業の活性化	農業振興課
		★ICTを活用した農業の研究			
		★植物工場の設置の検討・実施	●	地域産業の活性化	農業振興課
		○農地の集積 ○高性能農業機械等の導入支援 ○有害鳥獣駆除活動の推進と防除柵設置支援 ○新規就農希望者向けの相談会、研修会等 ○農作業ヘルパーの拡充		地域産業の活性化	農業振興課
1-1-②	農産物の高付加価値化の推進	★資金調達の多様化の検討	●	地域産業の活性化	商工観光課
		★規格外農産物の活用			
		○農産加工品開発・製造・販売の支援 ○ブランド農産物の作付拡大 ○商品開発、商品力向上の支援 ○都市圏への販路拡大、拡大		地域産業の活性化	農業振興課
		○藻場再生に向けた漁場整備 ○稚魚、稚貝等の放流 ○漁協青壮年部への活動支援			
1-2-①	水産業の基盤強化	○藻場再生に向けた漁場整備 ○稚魚、稚貝等の放流 ○漁協青壮年部への活動支援		地域産業の活性化	水産振興課
1-2-②	水産業の6次産業化等の推進	★資金調達の多様化の検討(再掲)	●	地域産業の活性化	商工観光課
		★国内外への販路の開拓			
		★規格外水産物の活用			
		★加工による水産物の高付加価値化 ○水産加工場設備の充実 ○ブランド化の推進 ○地産地消の推進 ○市場価値の低い未利用水産資源の商品化		地域産業の活性化	水産振興課
1-3-①	宗像版観光プラットフォームによる 観光の推進	★海外への観光PR	●	観光による地域の活性化	商工観光課
		★インバウンド商業施設整備の検討・実施			
		★観光プラットフォームのMICE機能の強化	●	観光による地域の活性化	商工観光課
		★観光プログラムの企画や、ICTを活用した観光プロジェクトの実施 ★河川、海辺などの水辺空間整備検討・実施 ○観光プラットフォーム確立への支援 ○観光資源のブラッシュアップ ○観光キャンペーンの企画・実施 ○周遊事業の実施 ○旅行商品の企画・開発		観光による地域の活性化	商工観光課
1-3-②	スポーツ観光の推進	★ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックキャンプ地の誘致 ○スポーツコミッションの設立 ○スポーツ合宿の誘致	●	スポーツの多面活用	文化スポーツ課

No.	取組名	内容	アクション プラン 管理対象	第2次総合計画における 関連施策	担当課
1-3-③	世界遺産来訪者の受入準備	★産学官民等による世界遺産来訪者受入準備の推進 ○観光ガイドの育成 ○交通誘導・交通アクセス対策 ○遺産関連の魅力づくり ○周辺景観づくり ○世界遺産関連品に関するガイドラインづくり ○周辺の店舗・旅館の受入体制の整備支援	●	歴史文化の保存と活用	世界遺産登録推進室
1-3-④	国道495号沿い及び唐津街道赤間宿への店舗誘導の推進	○空き店舗活用に向けた調整 ○物件化に向けた不動産業者との調整 ○新規出店者への支援		地域産業の活性化	商工観光課
1-3-⑤	広域観光の推進	★九州オルレをテーマとした県内広域イベントの実施 ○筑前玄海地域内での広域観光の推進		観光による地域の活性化	商工観光課
1-4-①	企業誘致に向けた適地調査と立地促進事業の充実	○産業適地優位性調査の実施 ○企業立地誘導策の検討と誘致活動の推進		地域産業の活性化	秘書政策課
1-4-②	創業支援と経営者の育成	★商工会、金融機関等と連携した創業講座、相談会の実施 ★支援対象エリア、ターゲットを特定した創業支援の実施 ★商工会と連携した経営者育成事業の実施 ○起業化利子補給制度の周知と活用促進		地域産業の活性化	商工観光課
1-4-③	子育て中の女性への就労支援の充実	★テレワーク、農作業ヘルパーなどの多様な働き方への支援	●	互いに尊重し、協力し合う社会の充実	男女共同参画推進課
		★宗像市地域職業相談室と連携した就労支援 ○資格取得講座、スキルアップ講座の実施		互いに尊重し、協力し合う社会の充実	男女共同参画推進課
1-4-④	高齢者への就労支援の充実	○シルバー人材センターにおける就業機会の創出と拡大 ○就業者への技術指導、安全指導 ○女性の業務拡大		高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者支援課

【分野2】宗像へのひとの流れづくり

No.	取組名	内容	アクション プラン 管理対象	第2次総合計画における 関連施策	担当課
2-1-①	若い世代の定住化の推進	★市外転出者を対象とした事業の実施 ○定住PRの実施 ○子育て家族向け交流事業の実施 ○住宅取得等補助制度による定住促進 ○住宅開発等の誘導	●	住宅施策の推進	秘書政策課
2-1-②	三世代暮らしの推進	○三世代が安心して暮らせる宗像のライフスタイルの情報発信 ○三世代同居及び近居に係る補助制度の検討・実施	●	住宅施策の推進	秘書政策課
2-1-③	移住促進に向けた取り組み	★トライアルワーキングステイ事業の実施 ○地域おこし協力隊の募集の検討・実施 ○移住者をモデルに宗像暮らしを紹介 ○移住ポータルサイトの構築	●	住宅施策の推進	秘書政策課

【分野3】出産・子育て・教育環境づくり

No.	取組名	内容	アクション プラン 管理対象	第2次総合計画における 関連施策	担当課
3-1-①	保幼小連携による幼児教育の推進	○「幼児教育振興プログラム」の改定 ○保育参観、統一入学説明会の実施 ○「学びのめやす」の作成・配布による保育士、教員への周知 ○「家庭向けパンフレット」による家庭への周知		子育て環境の充実	子ども育成課、教育政策課
3-1-②	保育・教育関係職員に対する研修の充実	○保育・教育関係施設への研修費補助 ○市主催研修会の実施		子育て環境の充実	子ども育成課
3-1-③	子ども・若者包括支援センター(仮称)の開設	○子ども・若者支援センター(仮称)開設の検討・実施 ○子ども・若者支援センター(仮称)開設に向けた相談体制の強化	●	子育て環境の充実	子ども家庭課
3-1-④	多子世帯支援の充実	○第3子以降の保育、教育、医療等の負担軽減策の検討		子育て環境の充実	経営企画課
3-2-①	家庭・地域と協働する小中一貫教育の推進	★地域コミュニティ、PTA、市民活動団体、民間企業、大学等が教育活動に参加できる仕組みづくり ○市内外へ向けたPR活動の展開		教育活動の充実	教育政策課
3-2-②	学力向上総合プロジェクト	★福岡教育大学及び福津市と連携した共同研究、職員研修の実施 ★民間企業等と連携した学力向上の取組みの研究 ○教員の資質向上策の実施 ○保護者や地域による学力向上の取組みの推進		教育活動の充実	教育政策課
3-2-③	ICTでわかる授業づくり、ICTを使いこなせる子どもの育成	★福岡教育大学及び福津市と連携した共同研究、職員研修の実施(再掲) ★民間企業等と連携したICT機器活用の研究 ○学校現場のICT環境の整備 ○教職員研修の実施 ○外部人材活用の検討		教育活動の充実	教育政策課
3-2-④	異文化交流によるグローバル人材の育成	★宗像国際育成プログラムの実施 ★学生海外派遣研修の実施 ○外国人団体等との交流事業の実施 ○ホームステイ・ホームビジット等の実施		グローバル人材の育成と国際交流の推進	子ども育成課
3-2-⑤	「英語が使える宗像の子」の育成	○英語教育実践モデル校での調査研究 ○教職員研修の実施 ○英語が使える場づくり		教育活動の充実	教育政策課
3-2-⑥	豊かな心育成総合プロジェクト	○道徳教育・特別活動の充実 ○読書活動の充実 ○生徒指導・教育相談の充実 ○地域への愛着を深める学習の推進 ○宗像市いじめ防止基本方針に基づく取組みの実施		教育活動の充実	教育政策課
3-2-⑦	スポーツ団体等と連携した体力向上の取り組み強化	★スポーツ関係団体と連携した小学校への体力向上支援		スポーツの多面活用	文化スポーツ課、教育政策課

【分野4】まちづくりと安心な暮らしの確保

No.	取組名	内容	アクション プラン 管理対象	第2次総合計画における 関連施策	担当課
4-1-①	立地適正化計画の策定と推進	○立地適正化計画の策定 ○市街化区域内における街中居住の推進 ○住宅団地内におけるサービス付高齢者向け住宅の誘導		住宅施策の推進	秘書政策課
4-1-②	区域区分の見直しの調査研究	○中心拠点の土地利用の検討 ○産業用地の土地利用の検討 ○市街地縁辺部からの住み替えにかかる土地利用の検討		調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成	都市計画課
4-1-③	公共交通網形成計画の作成及び計画の実施	○公共交通網形成計画の作成 ○計画項目の実施		公共交通の利便性の向上	交通対策課
4-1-④	既存住宅団地の再生を目指した取り組み	★民間企業等と連携した団地再生事業の検討・実施 ★UR日の里団地の福祉機能の強化 ○マイホーム借上制度の推進 ○空き家活用実証実験 ○空き店舗利活用の推進 ○街なか居住、住替えの促進	●	住宅施策の推進	秘書政策課
4-1-⑤	空き家空き地の流通促進	○空き家対策基本計画の策定 ○住宅セミナーの実施 ○空き家空き地バンクの利用促進 ○住宅性能評価制度等の活用推進 ○シェアハウスなど空き家活用方策の検討・実施		住宅施策の推進	秘書政策課
4-1-⑥	共同住宅の利活用促進	○共同住宅実態調査の実施 ○共同住宅ストックの利活用方策の検討・実施		住宅施策の推進	秘書政策課
4-1-⑦	民間ノウハウの活用による公共施設・インフラの戦略的管理	★公共施設運営へのPPP手法の活用の検討 ○公共施設アセットマネジメント推進計画の実践		公共施設等公共資産の管理、最適化の実践	財政課、経営企画課
4-1-⑧	中心商業地等の活性化	○空き店舗の現状調査と店舗誘導策の検討 ○地元関係団体との協議し、誘導策を検討 ○活性化に取り組むイベントへの補助		地域産業の活性化	商工観光課
4-2-①	地域単位での買い物支援	○現状調査と店舗誘導策の検討 ○地元関係団体と協議し、誘導策を検討 ○買い物代行や宅配、出張販売などの支援策の研究		地域産業の活性化	商工観光課
4-2-②	日常生活圏域における地域包括支援センターの設置	○未設置圏域への設置準備 ○地域包括支援センターの新規設置		自立した生活の支援	高齢者支援課(地域包括支援センター)
4-2-③	地域住民主体の健康づくり支援	○健康意識に関する普及啓発 ○保健士、栄養士の地域アウトリーチ事業 ○健康寿命延伸効果の検証		健康づくりの推進	健康課
4-2-④	地域防災活動への支援	○緊急情報伝達システムの登録勧奨及び周知 ○自主防災組織の訓練等への指導及び助言		防災対策の強化	地域安全課
4-3-①	市民が輝く事業の実施	○地域イベントの実施支援 ○市民活動補助制度の充実 ○協働委託の充実 ○市民参画制度の見直し		市民活動の推進	コミュニティ協働推進課

No.	取組名	内容	アクション プラン 管理対象	第2次総合計画における 関連施策	担当課
4-3-②	市の魅力となる文化芸術の創出	★子育て世代を対象とした文化サロンの実施 ○文化芸術のまちづくり10年ビジョン重点プロジェクトの実践 ○市民音楽祭の充実 ○市民協働の文化芸術イベントの創出		生涯を通じた学習の振興	文化スポーツ課
4-3-③	地域の人材の発掘と活躍の仕組みづくり	○人材育成講座の企画・開催 ○連携、協働事業の企画・開催 ○ボランティアネットワークの充実		市民活動の推進	コミュニティ協働推進課
4-3-④	大学との協働の推進	★市内外の大学との連携、協働事業の実施 ★学生ボランティアを活用した事業の企画・実施		連携によるまちの経営	コミュニティ協働推進課
4-3-⑤	地域創造ビジネスへの支援	○地域創造ビジネス手法の研究 ○地域創造ビジネス実践の支援		地域の特色を活かしたコミュニティ活動の推進	コミュニティ協働推進課
4-3-⑥	まちづくり計画実践への支援	○地域との懇談の実施 ○提案事項の事業化 ○提案事業の実施		地域の特色を活かしたコミュニティ活動の推進	コミュニティ協働推進課